

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月22日 (2017.6.22)

【公表番号】特表2016-523834(P2016-523834A)

【公表日】平成28年8月12日 (2016.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-048

【出願番号】特願2016-514040(P2016-514040)

【国際特許分類】

C 0 7 C 51/215 (2006.01)

C 0 7 C 53/08 (2006.01)

B 0 1 J 23/28 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 51/215

C 0 7 C 53/08

B 0 1 J 23/28 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月11日 (2017.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a. エタンから、エタン酸化を経てギ酸を含む粗酢酸組成物を生成する工程、および、その後、

b. 前記粗酢酸組成物を連続分別結晶化により精製し、ギ酸を除去し、精製酢酸組成物を得る工程、  
を含み、

前記ギ酸は前記精製酢酸組成物中に、前記精製酢酸組成物の総重量に基づき、0.2重量%未満の量で存在する、酢酸を生成するための方法。

【請求項 2】

前記ギ酸は前記精製酢酸組成物中に、前記精製酢酸組成物の総重量に基づき、0.1重量%未満の量で存在する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ギ酸は前記精製酢酸組成物中に、前記精製酢酸組成物の総重量に基づき、0.01重量%未満の量で存在する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記エタン酸化は触媒を利用する、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

前記粗酢酸組成物は、ブタン、ブテン、プロパン、またはプロピレンを含まない、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

前記粗酢酸組成物はアセトアルデヒドをさらに含む、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7】

前記酢酸は約 - 3 5 から約 - 1 5 の範囲の温度で結晶化される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

前記酢酸は約 - 1 5 から約 1 7 の範囲の温度で結晶化される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

前記酢酸は約 1 0 から約 1 7 の範囲の温度で結晶化される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 1 0】

前記精製酢酸組成物は、前記精製酢酸組成物の総重量に基づき、1 重量 % 未満の量の総不純物を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。